

家庭部門の脱炭素化に向けた新たな官民連携・業界横断の取り組み ガス石油省エネ給湯機普及促進会議(スマいる給湯プロジェクト)設立

リンナイ株式会社(本社:愛知県名古屋市、社長:内藤 弘康)が加盟する一般社団法人日本ガス石油機器工業会を含め 24 団体(給湯機メーカー、エネルギー事業者、住宅・流通・消費者団体など)は、2026年5月19日に「ガス石油省エネ給湯機普及促進会議(通称:スマいる給湯プロジェクト)」を設立しました*1。

本会議は、2050年カーボンニュートラルの実現および2035年度・2040年度の温室効果ガス削減目標への貢献を目的に、官民連携した業界横断の取り組みです。当社は「スマいる給湯プロジェクト」を通じて、業界・行政との連携を強化し、持続可能な社会の実現と家庭部門の脱炭素化に貢献します。

■ 参画の背景

政府は2035年度60%削減、2040年度73%削減(2013年度比)という温室効果ガス削減目標を掲げています。家庭部門においては、給湯分野がエネルギー消費の約3割を占めており、同分野の脱炭素化が重要課題となっています。ガス石油省エネ給湯機は、従来機器と比較して約13~52%のCO₂削減効果が期待されますが、認知不足や施工課題などにより普及が十分に進んでいないのが現状です。

■ 本会議の概要

○名称: ガス石油省エネ給湯機普及促進会議(スマいる給湯プロジェクト)

○設立日: 2026年5月19日

○目的: 家庭部門におけるCO₂削減に向けた省エネ給湯機の普及促進

○目標: 2035年度に省エネ給湯機のスタンダード化(市場の約75%)を実現

○座長: 芝浦工業大学 秋元孝之建築学部長

また、本会議では業界横断での課題解決に向け、「普及PR活動」「ドレン施工課題対応」等のワーキンググループを設置し、実効性ある施策を推進します。

■ ガス石油省エネ給湯機

ガス石油省エネ給湯機とは、従来型に比べCO₂排出量を削減する高効率給湯機の総称です。

対象機種

○エネファーム(家庭用燃料電池)

○ハイブリッド給湯機

○エコジョーズ/エコフィール



ハイブリッド給湯器

エコジョーズ

《本件のお問い合わせ先》

リンナイ株式会社 広報・IR部 TEL 052-361-8211(代表)

(注)本資料に記載されている内容は発表日時点の情報です。

ご覧になった時点で、内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。

*1 一般社団法人日本ガス石油機器工業会, 2026年5月20日発表, <https://www.jgka.or.jp/information/2026/post-275.html>